

1 構想区域の設定について

- 地域医療構想策定ガイドラインにおいて、構想区域の設定に当たっては、二次医療圏を原則としつつ、人口規模、患者の受療動向、疾病構造の変化、基幹病院までのアクセス時間等の変化など将来における要素を勘案して検討することとされている。
- 本県においては、以下の状況を踏まえ、現行の二次保健医療圏のうち、大川保健医療圏と高松保健医療圏を合わせて東部構想区域、中讃保健医療圏と三豊保健医療圏を合わせて西部構想区域、小豆保健医療圏を小豆構想区域とし、3つの構想区域を設定することとしたい。
 - ・患者の受療動向を見ると、大川保健医療圏及び小豆保健医療圏から高松保健医療圏へ、また三豊保健医療圏から中讃保健医療圏への流出が相当の割合で生じていること。
 - ・広域で医療機能の分化・連携を図ることにより、患者の受けられる医療の選択肢が多様化し、患者の状態に応じたより適切な医療の提供につながると考えられること。また、このような医療機能の分化・連携により、限られた医療資源の有効活用が図られ、医療提供体制の持続可能性が高まると考えられること。
 - ・ただし、小豆保健医療圏については、離島でありかつ一定の人口規模を有することから、島内で確保すべき医療提供体制について、他の圏域とは別に検討する必要があること。

構想区域 (案)	二次保健医療圏	郡市名	面積 (k㎡)	2025年 推計人口 (人)
東部構想区域 (仮称)	大川保健医療圏	さぬき市 東かがわ市	312.25	71,069
	高松保健医療圏	高松市 木田郡 香川郡	465.15	423,370
小豆構想区域 (仮称)	小豆保健医療圏	小豆郡	170.02	24,230
西部構想区域 (仮称)	中讃保健医療圏	丸亀市 坂出市 善通寺市 綾歌郡 仲多度郡	589.00	268,686
	三豊保健医療圏	観音寺市 三豊市	340.13	112,504
3 構想区域	5 保健医療圏	8 市 9 町	1,876.55	899,859

※2025年推計人口は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年(2013年)3月中位推計）」による。

2 構想区域間の医療供給数の調整

地域医療構想策定ガイドラインにおいて、高度急性期は診療密度が特に高い医療を提供することが必要となるため、必ずしも当該構想区域で完結することを求めるものではないが、急性期、回復期及び慢性期の機能区分については、できるだけ構想区域内で対応することが望ましいとされている。

本県の構想区域間の医療供給数の増減の調整に当たっては、ガイドラインに沿って、高度急性期は医療機関所在地ベースで、急性期、回復期及び慢性期は患者住所地ベースで調整することとしたい。

3 他県の構想区域との調整

平成27年9月18日付け厚生労働省医政局地域医療計画課長通知（医政地発0918第1号）により、都道府県間の供給数の調整については、下記のとおり定められている。

- ・4機能別かつ二次医療圏の2025年の流出入表において、流出又は流入している医療需要が10人未満の場合は都道府県間調整の対象外とする。（流出先の医療需要として取り扱う。）
- ・現状（医療機関所在地）の他都道府県の患者数を前提とした医療供給体制を維持（又は、一部維持）したいと考える都道府県が、流入の相手都道府県に対して、協議を持ちかけることとする。
- ・平成27年12月を期限に協議を行うことし、期限までに調整できない場合には、調整の対象となっていた医療需要は、医療機関所在地の需要として算出する。（流出先の医療需要として取り扱う。）

本県においては、各県との医療需要の流出と流入を差引きした場合、愛媛県（宇摩）から本県（三豊）へ医療需要の流入（高度急性期11人／日、急性期31人／日、回復期18人／日）が見られるため、この流入分の取扱いについて、愛媛県に協議を行うこととしたい。

一方、岡山県及び徳島県へは医療需要の流出が見られる。

岡山県からは、本県（高松）から岡山県（県南東部）に見られる医療需要の流出（急性期11人／日、回復期12人／日）について、岡山県の医療需要として取り扱いたいとの協議があった。これについては、都道府県間調整の対象外となる10人未満に近い規模の小さい流出であり、地理的要因等による流出と考えられることから、岡山県の医療需要として取り扱うことに同意することとしたい。

徳島県との調整については、今後協議があれば同様の考え方により対応することとしたい。

香川県における医療需要の推計値

	医療機能	慢性期から在宅医療等への移行目標	H25年医療需要(人/日)	2025年(H37年)医療需要		2040年(H52年)医療需要	
				医療機関所在地ベース(人/日)	患者住所地ベース(人/日)	医療機関所在地ベース(人/日)	患者住所地ベース(人/日)
香川県全体	高度急性期		772.6	786.1	788.2	731.2	733.1
	急性期		2,421.7	2,639.1	2,632.5	2,560.4	2,552.5
	回復期		2,722.8	3,056.0	3,049.0	3,031.1	3,022.1
	慢性期	パターンA	2,428.6	1,866.1	1,883.3	1,877.9	1,898.1
		パターンB		2,041.0	2,057.7	2,053.5	2,073.3
		特例		2,099.3	2,115.8	2,223.9	2,247.5
	在宅医療等	パターンA	10,548.2	13,546.7	13,569.1	14,567.1	14,591.2
		パターンB		13,371.9	13,394.7	14,391.5	14,416.0
		特例		13,313.5	13,336.6	14,221.2	14,241.8
	小計	パターンA	18,893.9	21,894.0	21,922.1	22,767.8	22,797.0
パターンB							
特例							
東部(仮称) (大川及び高松)	高度急性期		428.1	456.3	426.5	431.8	407.0
	急性期		1,373.8	1,539.9	1,449.2	1,511.9	1,438.5
	回復期		1,389.8	1,620.3	1,543.7	1,632.1	1,572.8
	慢性期	パターンA	923.1	918.3	999.2	967.6	1,044.1
		パターンB		958.5	1,039.0	1,008.0	1,084.1
		特例		—	—	—	—
	在宅医療等	パターンA	5,409.6	7,166.1	7,206.7	7,935.0	7,997.1
		パターンB		7,125.9	7,166.9	7,894.6	7,957.1
		特例		—	—	—	—
	小計	パターンA	9,524.5	11,700.9	11,625.2	12,478.4	12,459.5
パターンB							
特例							
小豆	高度急性期		10未満	10未満	19.7	10未満	15.3
	急性期		36.7	35.4	68.9	32.3	56.9
	回復期		63.9	62.1	97.8	56.1	82.3
	慢性期	パターンA	70.7	42.4	62.2	39.7	54.6
		パターンB		47.5	67.7	44.5	59.8
		特例		48.7	69.1	50.7	66.6
	在宅医療等	パターンA	433.0	445.5	489.7	419.7	459.9
		パターンB		440.4	484.2	414.9	454.7
		特例		439.2	482.8	408.6	447.9
	小計	パターンA	604.3	585.4	738.3	547.7	669.2
パターンB							
特例							
西部(仮称) (中讃及び三豊)	高度急性期		344.4	329.8	342.0	299.4	310.8
	急性期		1,011.1	1,063.9	1,114.4	1,016.2	1,057.1
	回復期		1,269.0	1,373.5	1,407.5	1,343.0	1,367.0
	慢性期	パターンA	1,434.8	905.5	821.9	870.6	799.4
		パターンB		1,035.0	951.0	1,001.0	929.4
		特例		1,092.1	1,007.7	1,165.1	1,096.8
	在宅医療等	パターンA	4,705.6	5,935.0	5,872.6	6,212.4	6,134.2
		パターンB		5,805.6	5,743.6	6,082.1	6,004.2
		特例		5,748.4	5,686.9	5,917.9	5,836.8
	小計	パターンA	8,765.0	9,607.7	9,558.5	9,741.7	9,668.4
パターンB							
特例							

※1 必要病床数等推計ツールを基に作成。

2 「東部(仮称)」及び「西部(仮称)」の推計値は、既存の二次保健医療圏ごとの推計値を単純に合計した参考値であり、数値が変動する場合がある。

3 香川県全体の合計及び各区域の小計においては、10未満の数値を0として計算している。

香川県における必要病床数の推計値

	医療機能	慢性期から在宅医療等への移行目標	H25年 必要病床数 (医療機関所在地ベース) (床)	2025年(H37年) 必要病床数		2040年(H52年) 必要病床数		H26年 病床機能 報告 (床)	
				医療機関所在地ベース (床)	患者住所地ベース (床)	医療機関所在地ベース (床)	患者住所地ベース (床)		
香川県 全体	高度急性期		1,030.1	1,048.1	1,050.9	974.9	977.5	1,196	
	急性期		3,104.7	3,383.5	3,375.1	3,282.6	3,272.4	6,367	
	回復期		3,025.3	3,395.5	3,387.8	3,367.9	3,357.9	1,096	
	慢性期	パターンA	2,639.8		2,028.4	2,047.1	2,041.2	2,063.2	3,611
		パターンB			2,218.4	2,236.6	2,232.1	2,253.6	
		特例			2,281.9	2,299.8	2,417.3	2,442.9	
	小計	パターンA	9,799.9		9,855.5	9,860.8	9,666.7	9,671.0	12,270
		パターンB			10,045.6	10,050.3	9,857.6	9,861.4	
		特例			10,109.0	10,113.5	10,042.7	10,050.7	
	東部 (仮称) (大川 及び 高松)	高度急性期		570.9	608.4	568.6	575.7	542.7	1,084
急性期			1,761.3	1,974.2	1,857.9	1,938.4	1,844.2	3,239	
回復期			1,544.2	1,800.4	1,715.2	1,813.4	1,747.6	560	
慢性期		パターンA	1,003.4		998.1	1,086.1	1,051.8	1,134.9	1,485
		パターンB			1,041.9	1,129.3	1,095.7	1,178.4	
		特例			—	—	—	—	
小計		パターンA	4,879.8		5,381.1	5,227.9	5,379.3	5,269.3	6,368
		パターンB			5,424.8	5,271.1	5,423.2	5,312.8	
		特例			—	—	—	—	
小豆		高度急性期		10未満	10未満	26.3	10未満	20.4	0
	急性期		47.1	45.4	88.4	41.4	73.0	209	
	回復期		71.0	69.0	108.6	62.3	91.5	0	
	慢性期	パターンA	76.8		46.1	67.6	43.2	59.3	185
		パターンB			51.6	73.6	48.4	65.0	
		特例			53.0	75.1	55.1	72.4	
	小計	パターンA	195.0		160.5	290.9	146.9	244.3	394
		パターンB			166.0	296.9	152.1	250.0	
特例		167.4			298.4	158.8	257.4		
西部 (仮称) (中讃 及び 三豊)	高度急性期		459.2	439.7	455.9	399.2	414.4	112	
	急性期		1,296.3	1,363.9	1,428.8	1,302.9	1,355.2	2,919	
	回復期		1,410.1	1,526.2	1,563.9	1,492.2	1,518.9	536	
	慢性期	パターンA	1,559.6		984.2	893.4	946.3	869.0	1,941
		パターンB			1,124.9	1,033.7	1,088.0	1,010.2	
		特例			1,187.0	1,095.3	1,266.4	1,192.2	
	小計	パターンA	4,725.2		4,314.0	4,342.1	4,140.6	4,157.4	5,508
		パターンB			4,454.7	4,482.3	4,282.3	4,298.6	
特例		4,516.8			4,544.0	4,460.7	4,480.6		

※1 必要病床数等推計ツールを基に作成。

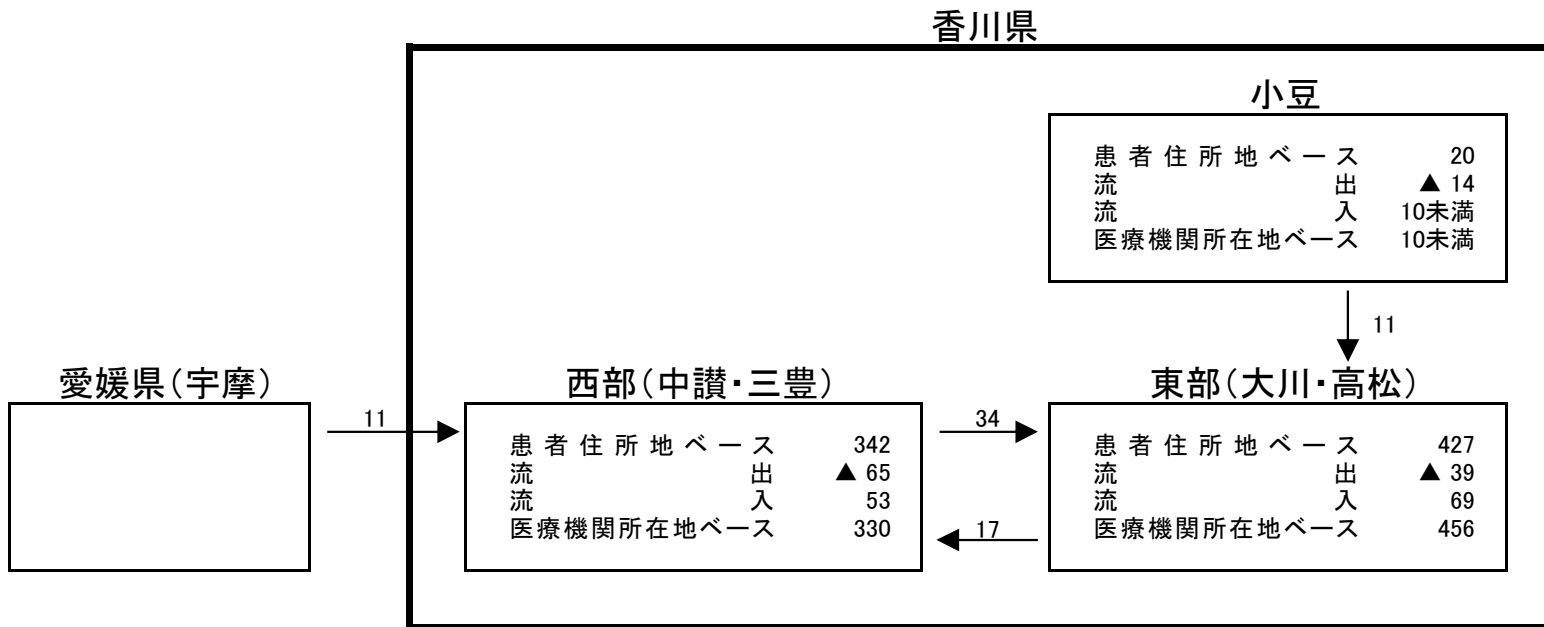
2 医療需要÷病床稼働率＝必要病床数 (病床稼働率：高度急性期75%、急性期78%、回復期90%、慢性期92%)

3 「東部(仮称)」及び「西部(仮称)」の推計値は、既存の二次保健医療圏ごとの推計値を単純に合計した参考値であり、数値が変動する場合がある。

4 香川県全体の合計及び各区域の小計においては、10未満の数値を0として計算している。

医療需要の流出入推計(2025年・高度急性期)

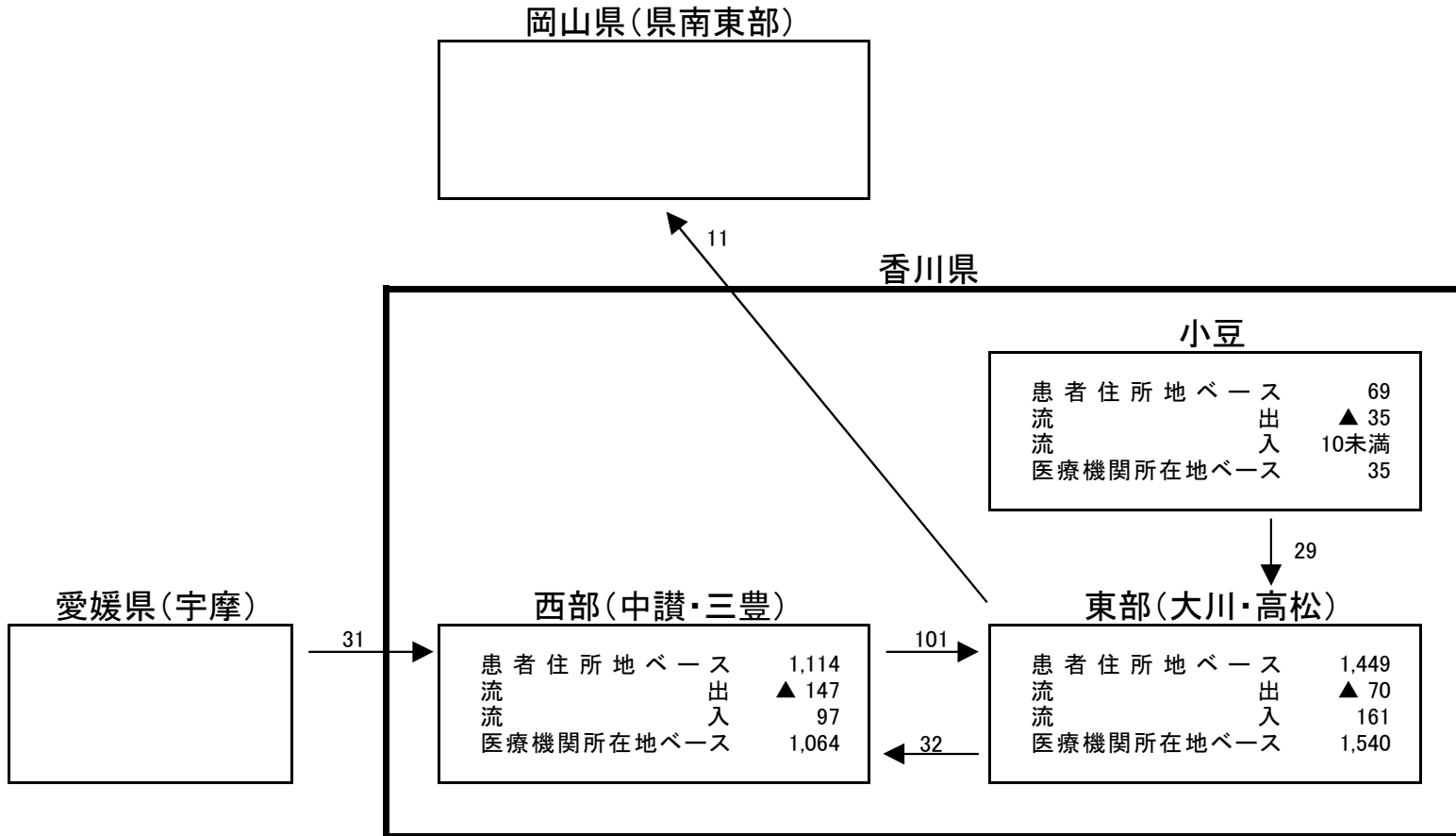
(単位:人/日)



※ 「東部(大川・高松)」及び「西部(中讃・三豊)」の推計値は、既存の二次保健医療圏ごとの推計値を単純に合計した参考値であり、数値が変動する場合があります。

医療需要の流出入推計(2025年・急性期)

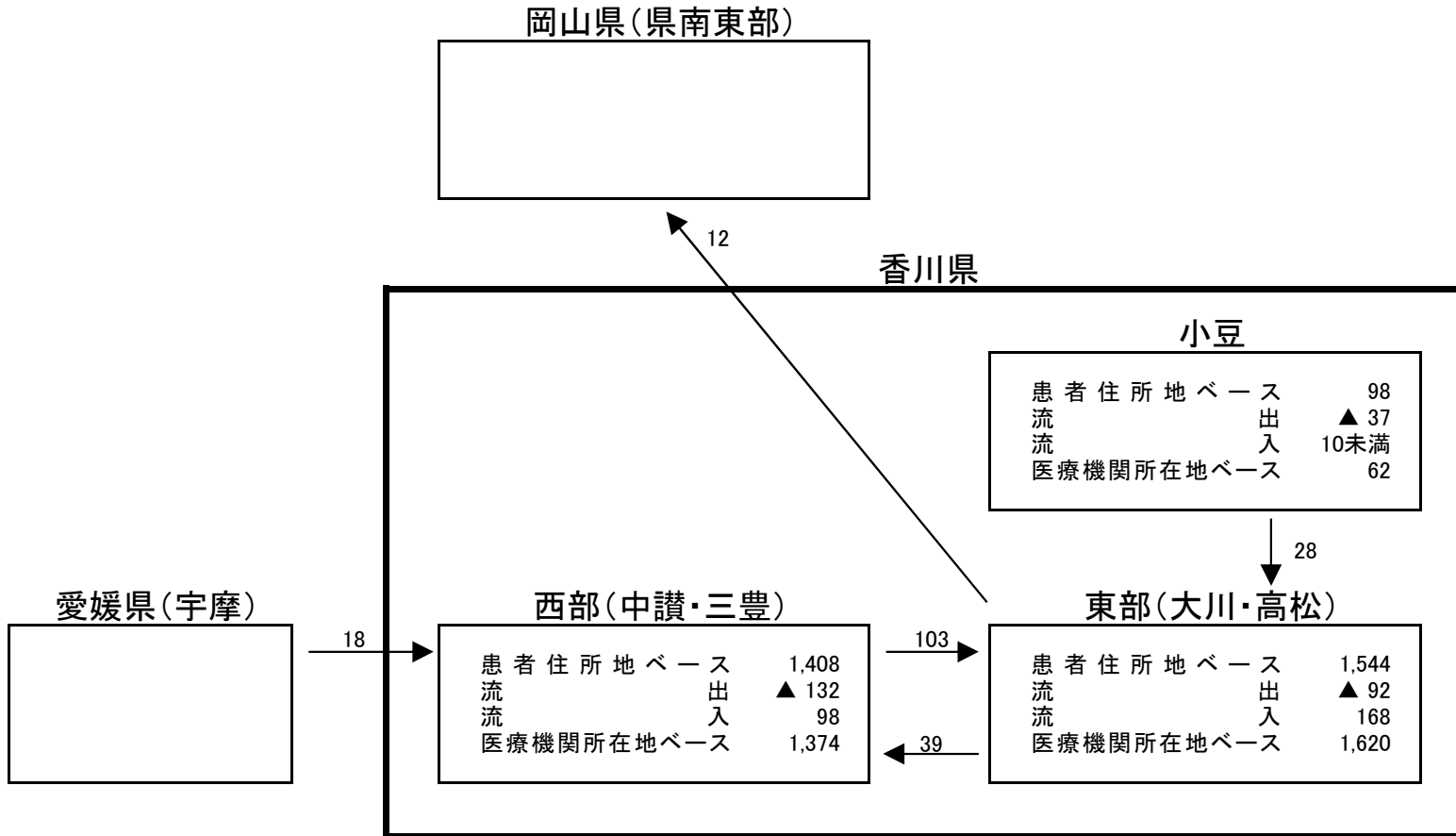
(単位:人/日)



※ 「東部(大川・高松)」及び「西部(中讃・三豊)」の推計値は、既存の二次保健医療圏ごとの推計値を単純に合計した参考値であり、数値が変動する場合がある。

医療需要の流出入推計(2025年・回復期)

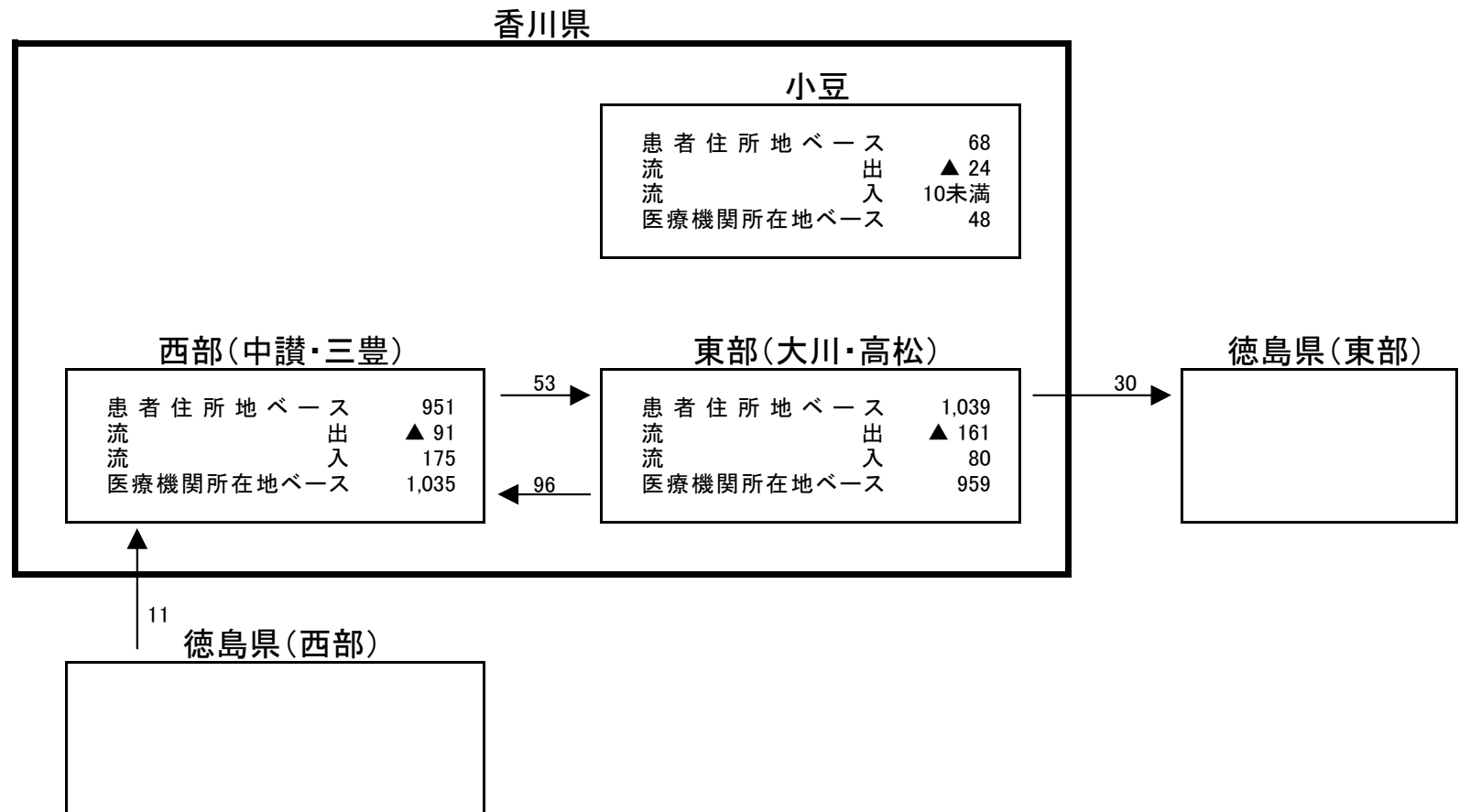
(単位:人/日)



※ 「東部(大川・高松)」及び「西部(中讃・三豊)」の推計値は、既存の二次保健医療圏ごとの推計値を単純に合計した参考値であり、数値が変動する場合がある。

医療需要の流出入推計(2025年・慢性期(パターンB))

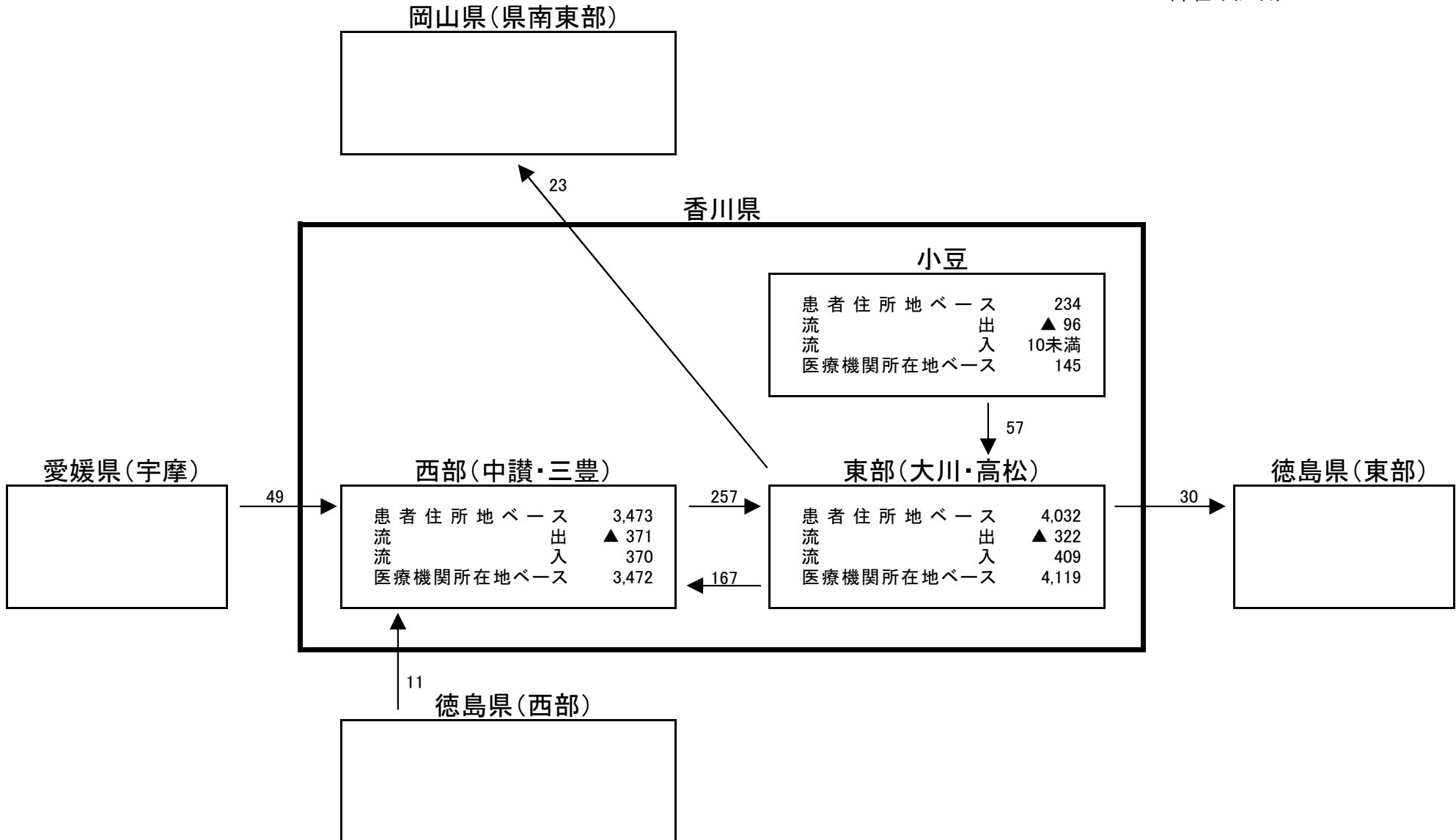
(単位:人/日)



※ 「東部(大川・高松)」及び「西部(中讃・三豊)」の推計値は、既存の二次保健医療圏ごとの推計値を単純に合計した参考値であり、数値が変動する場合があります。

医療需要の流出入推計(2025年・急性期、回復期、慢性期(パターンB)の合計)

(単位:人/日)



※ 「東部(大川・高松)」及び「西部(中讃・三豊)」の推計値は、既存の二次保健医療圏ごとの推計値を単純に合計した参考値であり、数値が変動する場合がある。